



地震の空白域って何なの

地震が、ほとんど起こっていない地域

地震の起こった所を、くわしく調べてみると、まわりのほかの地域に比べて、地震がほとんど起こっていない、地域があります。これを地震活動の、空白域といいます。

第一種空白域

北海道から千島列島にかけての、太平洋側では、マグニチュード(地震のエネルギーの大きさ)8以上の巨大地震が、数多く起こっています。長い期間で調べてみると、巨大地震が、起こっていない所(空白域)をのぞいて、次々に、地震が起こっていました。

こんど地震が起こる地域は、空白域だろうと考えられていました。1973年6月17日、その空白域に、根室半島沖地震(マグニチュード7.4)が起こりました。

今、東海大地震が起こるかもしれない、とさわがれている東海沖から、駿河湾にかけての地域は、巨大地震の、空白域といわれています。このような所を、「第一種空白域」とよんでいます。

第二種空白域

ふだんから、大きな地震が起こる前に、小さな地震が、よく起こっている地域で、ある時期から、地震が起こらなくなっているときがあります。このような地域も、近いうちに大きな地震が起こるかもしれない、と考えられています。このような所を、「第二種空白域」とよんでいます。(監修・国司 真)

